



広報



あさくら

2018
平成30年
10月1日号

No.300

おかげさまで

300号!

あさくら

300号!



「あさくら」の歩み。

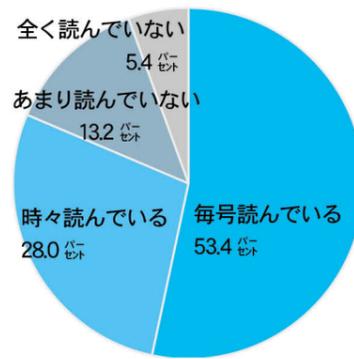
皆さんが、今、手にしている広報あさくら。朝倉市が誕生した直後の平成18年4月に創刊し、これまで市の歩みとともに毎月2回（1日・15日）の発行を通じて、皆さんに情報をお届けしてきました。今号の特集では、創刊300号を迎えるにあたり、広報あさくらがどのようなように作られ、どのように変化し（または守られ）、現在まで至っているのか……。その裏側に迫ります。

広報紙は重要な情報源

広報あさくらは、毎月2回発行し、そのときの旬の情報や市からのお知らせ、そして住民の皆さんの情報を幅広くお届けしています。

今年度を実施したまちづくり市民アンケートによると、約8割の人が「広報あさくらを毎月または時々読んでいることが分かりました（左グラフ参照）。朝倉市に暮らす多くの皆さんにとって、広報あさくらは重要な情報源であるといえます。

【広報あさくらを読んでいる市民の割合】



また、視覚に障がいのある人で希望する人には、点字広報や音読CDを配布しています。最近では、ホームページやスマートフォン・タブレット端末向けの無料アプリで配信し、情報社会の中、さまざまな手段で広報あさくらを読むことができますようにしています。

実はほぼ手作りの広報紙

では、この広報あさくらがどのように作られているか知っていますか。広報あさくらは、取材・紙面編集・写真撮影・デザイン・レイアウト・文章・画像の加工や校正など、印刷以外のすべてを市職員が手作りで作成しています。これは、広報あさくら創刊から、変わりません。広報あさくらが創刊300号を迎えた今、これまで作成に携わってきた広報担当者の思いを交えながら、その歩みを振り返ります。



広報あさくらの歴史など	
平成18年3月	朝倉市誕生
平成18年4月	広報あさくら創刊
平成22年5月	広報あさくら100号発行
平成25年3月	広報あさくらに有料広告導入
平成26年7月	広報あさくら200号発行
平成28年3月	朝倉市制施行10周年
平成29年7月	平成29年7月九州北部豪雨 広報あさくらを無料アプリで配信開始
平成30年2月	福岡県広報コンクール企画部門で入選
平成30年10月	広報あさくら300号発行

広報あさくらの歩み。



市の一体性を目指し、偏りなく、幅広く。

広報紙づくりで特に大事にしていたこと



イベントや祭りの雰囲気を読む人に伝わるような写真を選ぶこと、限られた紙面の中で記事を簡潔にまとめることを大事にしています。何度も撮影して納得の1枚が撮れたときはホッとしました。



この号から表紙写真枠を自由に、全面に!



取材先で嬉しかったエピソード

取材先で、「『広報紙に載ったね、見たよ』とたくさんの人から声をかけられて嬉しかったよ。ありがとう」という声をいただくことができました。広報を担当していたときの嬉しかったエピソードです。

広報紙をきっかけに、皆さんの間に新しいつながりが生まれ、朝倉市がより良くなることを期待しています。



(発行日の約3日前～) (発行日の約5日前～)

7. 配達



シルバー人材センターの会員が各区会長に配達し、各区内で各世帯に届けます。

6. 仕分け・梱包



納品後、シルバー人材センターで仕分け・梱包作業を行います。

5. 印刷製本・納品



印刷会社で印刷を行い、納品されます。

(発行日の約1～2週間前)

4. 入稿・校正



複数の職員で文字などに誤りがないかチェックし、データを印刷会社に渡します。

(発行日の約1カ月前～)

1. 企画



各課からの原稿などをもとに、特集記事や紙面の構成を企画します。

2. 取材・撮影



企画に沿ったインタビューや写真撮影を行います。

3. 編集・デザイン



中学生がわかる文章や、直感的に惹きつけるレイアウトを心がけて編集します。

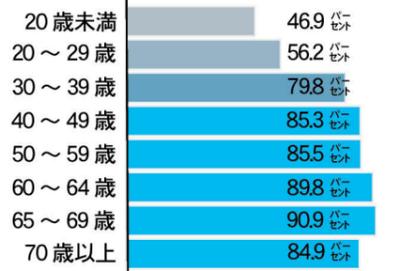


広報あさくらが
あなたの手元に届くまで

広報あさくらは、発行日の約1カ月前に原稿を締め切り、作成を始めます。企画から校了までの期間は約2週間。その間、取材を重ね、読みやすい・わかりやすい・親しみやすい紙面づくりを心がけて編集しています。



【広報あさくらを読んでいる市民の割合】
(年齢別)



300号の歩みから
広報あさくらが、さまざまな思いを込められて作られていること、市の歩みや時代のニーズの変化とともにかたちを変えながら作られている

こと、そして、地域やボランティアの協力があつて皆さんの手元に届けられていること。「裏側を知ること、これからの広報あさくらにもっと関心を持ってほしい」という思いから紹介しました。

親しまれる広報紙を目指して
まちづくり市民アンケートによる年齢別の結果では、広報あさくらを読んでいる若年層の割合が低くなっています（上グラフ参照）。

これからの広報あさくらも、市の歩みや時代のニーズの変化に対応しながら、若年層にも魅力的な紙面づくりに努め、皆さんに情報をお届けしていきます。

こと、そして、地域やボランティアの協力があつて皆さんの手元に届けられていること。「裏側を知ること、これからの広報あさくらにもっと関心を持ってほしい」という思いから紹介しました。

これからの広報あさくら



平成 29 年 7 月九州北部豪雨後は臨時的に発行し、情報提供に努めました。

市のことを知って好きになってほしい

取材のたびに自身に新たな発見や感動があります。そして、そこで知ることができた魅力や課題、背景、取り組みなどについて一人でも多くの人に知ってほしいという思いを込めて、毎回作っています。

300号を機に知ることができた歴代担当者の思いを受け継ぎ、市民の皆さんが主役の親しみやすい広報紙を作っていきます。取材現場で見かけたときは、よろしくお願ひします。



平成 29 年度～現在 担当 矢野

特集に力を入れる

特に思い出に残っているのは、最初に最も精魂込めて作った平成 23 年 8 月 1 日号の朝倉市民平和祭の特集です。行政の広報紙はどうしても文字が多くなってしまいますが、まず見た目に興味を持ってもらい、それから内容をじっくり読んでもらうように、写真や記事の構成を、映画広告などを参考にしながら作り上げました。

毎回毎回、違う特集を組むことで「今回の特集は何だろう?」と広報紙を読むことを楽しみにしてもらうために、特集に力を入れていました。



平成 22～25 年度 担当 野田



有料広告の導入やページの削減などで費用節減に努めています。



広報紙づくりの大変さ

各課から提出された原稿を簡潔に伝えることに毎回苦労します。紙面には限りがあるので、その中でうまくやりくりをしなければなりません。

これからも、分かりやすいことはもちろん、行政情報を掲載した広報紙として、気品とカジュアルさを持ち合わせたい親しまれる読み物を目指します。



平成 26 年度～現在 担当 坂口



節目の号や年を経験して

市制施行 10 周年を記念して作った平成 28 年 3 月 15 日号・4 月 1 日号では、複数の市民の皆さんを取材して、市に対するいろいろな思いや話をうかがい、皆さんと一緒にまちづくりをしていく大切さを改めて実感する経験となりました。

取材内容を記事にまとめるとき、その場の空気感を文章で表現するのがとても難しく、また、面白いと感じていました。



平成 23～28 年度 担当 徳田

広報あさくら 300号の歩み。

広報あさくらへの意見を
お寄せください！

広報あさくらでは、皆さんの意見や感想を募集しています。寄せられた意見は、今後の広報あさくらの企画や紙面作りに活用したいと考えています。ご協力をお願いします。

■ 提出方法：はがき、FAX (22-1118)、電子メール (jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp) で市人事秘書課広報統計係 (〒838-8601 (住所記入不要)) へ提出または送付してください。

2. 市ホームページ

トップページ「広報あさくら」から最新号やバックナンバーを見ることが出来ます。



3. ソーシャルメディア

市公式 Facebook や Youtube、図書館公式 Twitter などを活用しています。

皆さんの情報収集に役立ててください。



1. マチイロ このような方法でも



「マチイロ」という無料アプリをスマートフォンやタブレット端末にダウンロードして登録するだけで、いつでも広報紙を見ることが出来ます。

ダウンロードは、アプリストアで「マチイロ」と検索するか、下のQRコードを活用ください。



「虹の会」の皆さん 声の広報ボランティア



一人でも多くの人に聞いてもらえるように！



視覚に障がいのある人で希望する人に広報紙の音読CDを配布しています。広報あまぎのころから、朗読ボランティアを続けている「虹の会」の皆さん。「読むことが好き」で「人の役に立ちたい」と思って活動している人がほとんど。1日号は10人、15日号は5人で分担して、声を吹き込みます。「声が大事な活動なので、健康に気を遣って。活動を通じて、元気をもらいます」と皆さん笑顔で話してくれました。

声の広報を希望する人は、市社会福祉協議会(☎247834)までお問い合わせください。